

本邦における対流圏の風向別気温の研究(3)*

齋 藤 昭**

要 旨

前報に引続き、本邦の冬季の対流圏中層部 500mb 面において、風向別平均気温の地理的分布、風向別気温と風速との関係および風向別気温の気象学的機構の型について明らかにした。

1. 緒 言

筆者は、すでに、本誌において、対流圏の風向別気温の統計的特徴や、対流圏下層部の 850mb および 700mb 面について、風向別気温の気象学的機構を明らかにしたが、今回は、500mb 面をとり、まだ十分に吟味を試みしていない風向別平均気温の地理的分布、風向別気温と風速との関係および風向別気温の気象学的機構の型について調査を行ない、まとめてみた。

500mb 面においては、風向別気温の地域差が明瞭であるので、地域差をも吟味するため、第 3 章および第 4 章においても、札幌、館野、福岡の 3 地点について解析を行なった。

なお、資料は、Aerological Data of Japan 所載の 1958 年から 1970 年までの 1 月の 9 時、21 時の風向、風速、気温および印刷天気図を用いた。

2. 風向別平均気温の地理的分布

500mb 面においては、風向別平均気温と風向との間に明瞭な関係が認められる地域と、認められない地域とがあるので、その地理的分布を明らかにしてみる。

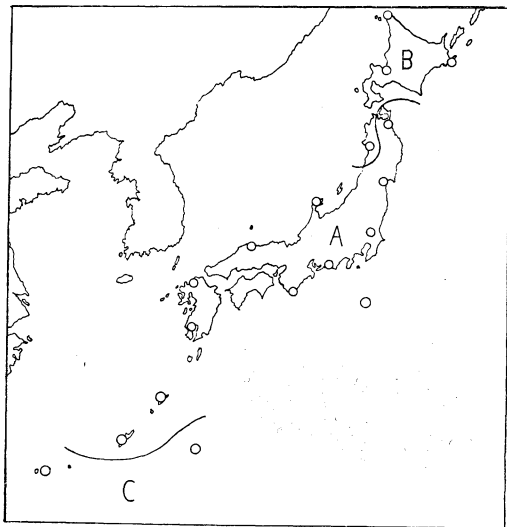
上記の資料を用い、風向別平均気温を求めると、第 1 表のようになる。

これより、風向別平均気温と風向との関係を、次のような基準により、規則型、不規則型 I、不規則型 II の 3 型に分け（出現度数が 1 のものは除く）、その分布を示すと、第 1 図のようになる。

規則型：風向別平均気温が、風向の北分が減少し、また、南分が増加するに従って上昇する（傾向がある）。

不規則型 I：風向別平均気温と風向との間に明瞭な関係が認められない。

不規則型 II：不規則型 I と同様の傾向があり、かつ、風向別気温の風向による変化が小さい。



第 1 図 風向別平均気温の型の分布、A は規則型、B は不規則型 I、C は不規則型 II を表わす。

第 1 図より明らかなように、秋田を除く本州、九州の各地点、名瀬、嘉手納は規則型を示す。しかし、北海道の各地点および秋田は、不規則型 I、石垣島、南大東島は、不規則型 II を示す。

3. 風向別気温と風速との関係

次に、札幌、館野、福岡の 3 地点をとり、風向別気温が、風速とどのような関係を示すかを解明してみる。

上述の各地点の 1958～1967 年の 10 年間の 1 月の 9 時および 21 時の気温について、第三・四分位値（札幌 -31.9°C、館野 -22.9°C、福岡 -19.9°C）以上を高温、第一・四分位値（札幌 -38.4°C、館野 -29.1°C、福岡 -26.6°C）未満を低温、第一・四分位値以上第三・四分位値未満を並温とし、また、風速を 10m/s の区間に

* Studies on the Relation between Temperature and Wind Direction in the Troposphere in Japan (3)

** A. Saito 東京都立大学理学部（研究生）

—1971年 9 月 27 日受理—

第1表 各地の風向別平均気温(°C)

地名	風向	N	NNW	NW	WNW	W	WSW	SW	SSW	S	SSE	SE	ESE	E	ENE	NE	NNE
稚内	内	-37.4 (11)	-38.9 (17)	-35.9 (35)	-37.7 (62)	-38.1 (76)	-37.6 (38)	-35.8 (14)	-39.3 (9)	-37.3 (5)	-39.8 (4)	-35.5 (4)	-39.5 (3)	-37.9 (8)	-38.8 (7)	-38.7 (8)	-36.4 (8)
	幌	-35.6 (7)	-39.2 (14)	-35.2 (28)	-35.3 (71)	-34.6 (104)	-36.5 (46)	-35.5 (21)	-38.9 (6)	-38.9 (6)	-25.5 (1)	-26.9 (1)	-33.7 (2)	-	-34.0 (2)	-	-41.2 (2)
根室	室	-36.1 (6)	-35.8 (13)	-35.9 (28)	-35.3 (63)	-34.9 (98)	-35.3 (58)	-35.7 (25)	-32.9 (8)	-33.1 (2)	-21.6 (1)	-33.0 (3)	-	-38.1 (2)	-35.8 (1)	-36.1 (1)	-43.0 (1)
	沢	-37.1 (1)	-36.8 (9)	-34.0 (26)	-33.4 (77)	-32.5 (125)	-34.0 (57)	-31.9 (9)	-	-	-28.5 (2)	-	-	-	-	-	-38.2 (1)
秋田	田	-41.4 (2)	-34.1 (5)	-32.8 (24)	-32.1 (63)	-31.6 (142)	-33.1 (60)	-33.7 (12)	-	-17.5 (1)	-	-24.6 (1)	-	-	-	-	-
	台	-41.0 (1)	-35.8 (3)	-32.0 (21)	-30.6 (61)	-28.8 (153)	-28.8 (61)	-29.6 (7)	-41.8 (1)	-20.9 (2)	-	-	-	-	-	-	-
輪島	島	-	-25.8 (5)	-30.9 (20)	-30.1 (76)	-28.8 (164)	-27.8 (40)	-28.5 (2)	-22.4 (2)	-	-	-	-	-	-	-	-
	野	-	-29.5 (2)	-27.7 (13)	-27.3 (54)	-25.6 (177)	-25.6 (58)	-21.8 (4)	-22.5 (2)	-	-	-	-	-	-	-	-
八丈島	島	-	-25.6 (1)	-22.6 (4)	-21.9 (49)	-20.6 (208)	-20.6 (35)	-18.8 (3)	-	-23.3 (1)	-	-	-	-	-	-	-22.6 (1)
	松	-	-26.3 (3)	-25.0 (11)	-24.7 (54)	-23.4 (190)	-22.5 (45)	-19.4 (1)	-17.6 (2)	-	-	-	-	-	-	-	-
米子	子	-23.7 (1)	-27.0 (4)	-29.3 (11)	-27.9 (84)	-24.0 (171)	-22.4 (33)	-25.3 (4)	-24.3 (2)	-	-	-	-	-	-	-	-
	岬	-22.5 (1)	-	-25.5 (4)	-23.5 (49)	-21.4 (212)	-19.8 (38)	-19.8 (4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-23.0 (1)
福岡	岡	-	-	-26.9 (10)	-23.6 (69)	-21.6 (180)	-20.9 (44)	-18.3 (3)	-23.3 (2)	-20.9 (1)	-	-	-	-	-	-22.5 (1)	-23.0 (1)
	島	-23.7 (1)	-	-21.4 (4)	-20.3 (60)	-18.1 (200)	-18.1 (42)	-21.2 (3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
名瀬	瀬	-	-	-15.7 (3)	-15.2 (36)	-13.6 (208)	-13.7 (59)	-13.3 (3)	-14.7 (1)	-	-	-	-	-	-	-	-
	納	-	-17.1 (1)	-14.7 (1)	-12.3 (26)	-11.3 (226)	-11.5 (47)	-9.4 (5)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石垣島	島	-	-	-	-8.5 (17)	-9.2 (186)	-9.0 (88)	-9.2 (11)	-7.0 (1)	-	-	-	-	-	-	-	-
	南大東島	-	-	-15.3 (1)	-9.3 (24)	-9.6 (215)	-10.3 (65)	-9.1 (3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 括弧内の数字は出現度数を示す

a) 札幌

第2表 風向別, 風速別の気温階級別出現度数

風速 (m/s)	N			NNW			NW			WNW			W			WSW			SW			SSW			
	l	m	h	l	m	h	l	m	h	l	m	h	l	m	h	l	m	h	l	m	h	l	m	h	
1~10	2	7	1	3	4	1	4	5	1	2	4	1	4	13	2	2	2	1	3	4	1	4	2		
11~20	2	2		2	4	3	10	17	3	16	16	8	9	14	5	10	12	3	3	8	3	1	2		
21~30			1	1	2		2	8	3	11	28	10	21	28	13	14	18	11		7	3	2	2	1	
31~40					2				5	4	4	13	8	2	18	10	8	13	10	1	9	4			2
41~50											6	4		6	5		2	5							
51~60												5		1											
61~70																									

風速 (m/s)	S			SSE			SE			ESE			E			ENE			NE			NNE			
	l	m	h	l	m	h	l	m	h	l	m	h	l	m	h	l	m	h	l	m	h	l	m	h	
1~10		3				1	1			5	1		1	2	1		1	2		2	4	1	3	2	
11~20	1		2	2	2			1			2			2			2	3		1		1	1	2	
21~30						1											1	1				1			
31~40																									
41~50																									
51~60																									
61~70																									

(注) 第2表においてhは高温, mは並温, lは低温を表わす。

b) 館野

風速 (m/s)	NNW			NW			WNW			W			WSW			SW			SSW						
	l	m	h	l	m	h	l	m	h	l	m	h	l	m	h	l	m	h	l	m	h				
1~10				2	1					2			2			1									
11~20	1			6	1	1	12	1	3	16	12		4		1	3		1	1					1	
21~30		3		1	2		8	26	4	39	43	14	16	21	8	3	2				2	1			
31~40		1			2		5	28	7	14	57	30	10	27	17	1	4	3							
41~50							1	10	5	4	19	33	2	16	9	4	1	3							
51~60								3		1	11	6	2	6	2		1								
61~70								1			2	2		1	3										

c) 福岡

風速 (m/s)	N			NNW			NW			WNW			W			WSW			SW						
	l	m	h	l	m	h	l	m	h	l	m	h	l	m	h	l	m	h	l	m	h				
1~10				1						1	1														
11~20				1	2		5	2		5	8	3	5	5	3		5	2			1				
21~30	1						1	3		19	30	2	12	47	27	7	18	10	1	1	1				
31~40				1			3	2	1	18	21	8	28	59	38	4	15	22							
41~50										8	19	5	24	45	13	5	8	4							
51~60										4	3		5	13	8		2								
61~70															1				1						

分け、風向別、風速区別別に、上の3階級に区分した気温の度数を示すと、第2表(a)~(c)のようになる。

まず、館野についてみると、風向別気温は、風速ともかなり顕著な関係を示している。

すなわち、1~20m/s (Wおよび WSW では 1~30 m/s) の風速において、低温が卓越し、31~70m/s の風速においては、W および WSW に高温が卓越する傾向がある。また、並温は、21~40m/s の風速において、NNW~WNW に卓越する傾向がある。

札幌においても、出現度数の少ない東分を持った風を除き、高温および低温については、館野と類似の傾向がある。しかし、高温の卓越する風向がNW~WSWであることは、風速との関係が、館野より著しいことを示している。また、並温の卓越する風速は、風向によりまち

まちである。

福岡においては、傾向がやや異なり、高温および低温の出現度数は、風向との関係が顕著である。すなわち、NNW~WNW に低温が卓越し、W および WSW では高温が卓越する傾向がある。また、並温の卓越する場合は少ない。

4. 風向別気温の気象学的機構の型

さらに、500mb 面における風向別気温の気象学的機構の解析を行ない、それを型に分類し、吟味してみる。

前章と同じ地点をとり、1966~1970年 (1969年は館野、福岡が著しい暖冬であるので除く) 1月につき、風向別気温の機構を500mb 天気図により解析し、型に分類して示すと、第3表(a)~(1)のようになる。

a) N 第3表 風向別気温の気象学的機構の型とその平均気温および度数

型	札幌		館野		福岡	
	平均気温(°C)	度数	平均気温(°C)	度数	平均気温(°C)	度数
T _B W	-32.0	1	—	—	—	—
T _B S	-40.5	1	—	—	—	—
T _B ·R _F W	-31.7	1	—	—	—	—

b) NNW

型	札幌		館野		福岡	
	平均気温(°C)	度数	平均気温(°C)	度数	平均気温(°C)	度数
T _B C	-40.6	4	—	—	—	—
T _B C'	-38.6	1	—	—	—	—

c) NW

型	札幌		館野		福岡	
	平均気温(°C)	度数	平均気温(°C)	度数	平均気温(°C)	度数
T _B C	-38.3	4	-31.5	4	-27.7	2
T _B C'	-36.9	3	-31.0	1	-24.5	1
T _B W	-32.0	1	—	—	—	—
T _B W'	-35.0	1	—	—	—	—
T _B S	—	—	—	—	-28.4	1
T _M C'	—	—	-26.3	1	—	—
T _B ·R _F C	—	—	—	—	-25.5	1
T _B ·R _F C'	—	—	—	—	-25.1	1
T _B ·R _F W	-31.9	3	—	—	—	—
R _F W	-31.2	1	-24.9	2	—	—
R _F S	-32.4	1	—	—	—	—

d) WNW

第3表

型	札幌		野		福岡	
	平均気温 (°C)	度数	平均気温 (°C)	度数	平均気温 (°C)	度数
T _F C	-41.3	2	—	—	—	—
T _F C'	-41.0	1	—	—	—	—
T _F W'	—	—	—	—	-19.7	1
T _F S	—	—	—	—	-31.0	1
T _M C	—	—	—	—	-23.4	2
T _M W	-33.3	1	—	—	—	—
T _M S	-38.3	1	—	—	—	—
T _B C	-41.0	7	-35.0	5	-26.1	11
T _B C'	-36.2	7	-29.5	4	-25.3	2
T _B W	—	—	-24.5	1	-19.8	2
T _B W'	-34.9	1	-25.6	1	-19.2	1
T _B S	-40.7	1	-26.3	1	-25.3	3
T _B ·R _F C'	—	—	-29.9	1	—	—
T _B ·R _F W	—	—	-26.0	2	-23.2	2
R _F C	—	—	-29.7	1	—	—
R _F W	-30.5	4	-23.6	3	-19.8	6
R _F S	-32.2	2	-22.8	2	—	—
R _M C	—	—	-27.7	1	—	—
R _M W	-31.3	4	—	—	—	—
ZC	-37.1	1	—	—	—	—
ZW	—	—	-21.7	2	—	—

これらの表における型の記号は、次の事項を示す。

R : 気圧の嶺, T : 気圧の谷, Z : 等高線がほぼ東西に直線状に走る, F : 前面, B : 後面, M : 中軸部, C : 寒気流入, C' : 寒気衰弱, W : 暖気流入, W' : 暖気衰弱, S : 寒暖気の流入なし。

たとえば, T_BC は, 気圧の谷の後面寒気流入型を, また, R_B·T_FW は, 気圧の嶺の後面・気圧の谷の前面暖気流入型を表わす。

また, C, C', W, W', S の判定には, 便宜的に定めた次のような基準と, 天気図解析の結果とを併用した。

C その年の1月平均気温より低温で, 前日(の同時刻)に比し, 気温が1°C以上下降している。

C' その年の1月平均気温より低温であるが, 前日(の同時刻)に比し, 気温が1°C以上上昇している。

W その年の1月平均気温より高温で, 前日(の同時刻)に比し, 気温が1°C以上上昇している。

W' その年の1月平均気温より高温であるが, 前日(の同時刻)に比し, 気温が1°C以上下降している。

S 前日(の同時刻)に比し, 気温の変動が1°C未満である。

出現度数の比較的多い風向につき, 上記地点の風向別気温の機構の型の特徴を述べてみる(以下の文中における気温は, 度数2以上の型においては平均値を示し, また, 高温および低温は, 第3章と同一である)。

1) 館野

NW T_BC が, 最も度数が多く, 気温の最低値-31.5°Cを示す。また, 暖気流入型の R_FW もあり, 気温の最高値-24.9°Cを示す。

WNW T_BC が, 度数が多く, 気温の最低値-35.0°Cを示す。また, R_FW 等暖気流入する型の度数も比較的多い。気温の最高値は, ZW の-21.7°Cである。

W 数多くの型が出現するが, T_FC を筆頭に寒気流入型が卓越する。気温の最低値は, T_MC の-33.7°Cである。また, R_BW をはじめ暖気流入型の度数も比較的多い。気温の最高値は, T_B·R_FS の-20.4°Cである。

WSW T_FC が卓越し, また, 低温を示す。気温の最低

e) W

第3表

型	札幌		野幌		福岡	
	平均気温 (°C)	度数	平均気温 (°C)	度数	平均気温 (°C)	度数
T _F C	-39.7	4	-28.7	9	-23.4	5
T _F C'	-38.7	2	—	—	-23.1	2
T _F W	-34.3	2	-21.1	1	-20.1	4
T _F W'	-35.3	2	-22.8	2	-19.7	4
T _F S	-38.4	2	—	—	-20.5	6
T _M C	-38.9	2	-33.7	3	-26.4	6
T _M C'	-37.3	1	-30.5	1	-23.4	3
T _M W	—	—	-22.8	1	-21.6	2
T _M W'	—	—	—	—	-20.8	1
T _M S	-31.7	1	-31.1	1	-22.4	3
T _B C	-39.4	4	-31.0	8	-25.3	3
T _B C'	-38.1	1	-31.1	3	-29.9	2
T _B W	—	—	—	—	-22.9	1
T _B S	—	—	-22.7	1	-24.1	1
T _B ·R _F W	—	—	-24.4	1	—	—
T _B ·R _F S	—	—	-20.4	1	—	—
R _F C	—	—	—	—	-27.3	1
R _F C'	—	—	—	—	-24.2	1
R _F W	-31.8	2	-23.5	2	-21.7	1
R _F S	—	—	-24.8	1	-23.5	3
R _M C'	—	—	-26.5	2	—	—
R _M W	-27.5	2	-23.9	1	-17.7	7
R _M W'	—	—	-22.1	2	—	—
R _B W	-30.4	1	-23.1	7	-20.2	1
R _B ·T _F W	—	—	—	—	-20.7	1
R _B ·T _F S	—	—	-22.7	2	—	—
ZC	—	—	-27.4	1	-25.9	1
ZC'	-37.0	1	-30.1	2	—	—
ZW	-33.3	1	-20.5	3	-19.5	7
ZW'	—	—	-23.6	2	-22.4	3
ZS	—	—	-25.8	4	-20.9	2

値は、R_B·T_FC の -33.1°C である。また、T_FW をはじめ暖気流入型があり、高温を示す。気温の最高値は、R_BW の -19.1°C である。

2) 札幌

NNW T_BC が卓越し、気温の最低値 -40.6°C を示す。気温の最高値は、T_BC' の -38.6°C である。

NW T_BC が度数が多く、また、気温の最低値 -38.3°C を示す。T_B·R_FW 等暖気流入型の度数も、比較的多い。気温の最高値は、R_FW の -31.2°C である。

WNW T_BC 等寒気流入型や T_BC' 等の寒気衰弱型の度数が多い。気温の最低値は、T_FC の -41.3°C である。また、R_FW 等暖気流入型の度数も多く、気温の最高値 -30.5°C を示すこの型を筆頭に、高温を示すものが多いことは注目すべきである。

W T_FC をはじめ寒気流入型の度数が多く、気温の最低値 -39.7°C を示すこの型を筆頭に、すべて低温を示す。また、気温の最高値 -27.5°C を示す R_MW をはじめ暖気流入型の度数も比較的多い。

WSW T_FC をはじめ寒気流入型の度数が多く、型の

f) WSW

第3表

型	札幌		館野		福岡	
	平均気温 (°C)	度数	平均気温 (°C)	度数	平均気温 (°C)	度数
T _F C	-40.1	6	-29.8	10	-26.8	6
T _F C'	-36.4	2	—	—	—	—
T _F W	-33.3	1	-22.8	3	-22.5	1
T _F W'	-36.5	1	-27.1	4	-22.8	1
T _F S	-31.6	1	-28.3	4	-22.3	1
T _B C	-41.7	1	—	—	—	—
R _M C	—	—	—	—	-24.8	1
R _M W	-32.9	1	—	—	—	—
R _B C	-37.3	2	—	—	—	—
R _B C'	—	—	-27.3	1	—	—
R _B W	-29.2	2	-19.1	2	-19.2	3
R _B W'	-35.1	2	—	—	—	—
R _B ・T _F C	—	—	-33.1	1	—	—
R _B ・T _F W	-31.9	1	-22.9	2	-15.6	1
R _B ・T _F W'	-34.1	1	-23.2	1	—	—
ZS	—	—	-25.2	1	—	—

g) SW

型	札幌		館野		福岡	
	平均気温 (°C)	度数	平均気温 (°C)	度数	平均気温 (°C)	度数
T _F C	-38.9	2	—	—	—	—
T _F W	—	—	-15.0	1	—	—
T _F W'	-33.2	2	—	—	—	—
T _F S	-36.7	3	—	—	—	—
R _B W	—	—	-17.9	1	—	—
R _B ・T _F C	-38.1	2	—	—	—	—
R _B ・T _F W'	-33.0	2	—	—	—	—

h) SSW

型	札幌		館野		福岡	
	平均気温 (°C)	度数	平均気温 (°C)	度数	平均気温 (°C)	度数
T _F C	-40.4	1	—	—	-27.3	1
R _B W	-26.6	1	—	—	—	—

i) SSE

型	札幌		館野		福岡	
	平均気温 (°C)	度数	平均気温 (°C)	度数	平均気温 (°C)	度数
R _B ・T _F W	-26.9	1	—	—	—	—

j) SE

第3表

型	札幌		館野		福岡	
	平均気温 (°C)	度数	平均気温 (°C)	度数	平均気温 (°C)	度数
T _F W	-24.4	1	—	—	—	—

k) NE

型	札幌		館野		福岡	
	平均気温 (°C)	度数	平均気温 (°C)	度数	平均気温 (°C)	度数
T _B C	-44.0	1	—	—	—	—
T _B ·R _F C'	-38.3	1	—	—	—	—
R _F S	—	—	—	—	-21.7	1

l) NNE

型	札幌		館野		福岡	
	平均気温 (°C)	度数	平均気温 (°C)	度数	平均気温 (°C)	度数
T _B C'	-35.6	1	—	—	—	—
T _B S	-26.7	1	—	—	—	—

多くは低温を示すことは注目すべきである。また、気温の最低値は、T_BC の -41.7°C である。これに対して、暖気流入型は、度数が少ない。気温の最高値は、R_BW の -29.2°C である。

SW 気温の最低値 -38.9°C を示す T_FC 等の寒気流入型と、気温の最高値 -33.0°C を示す R_B·T_FW' 等の暖気衰弱型がおもである。

3) 福岡

NW T_BC 等寒気流入する型の度数がやや多い。気温の最低値は、T_BS の -28.4°C、気温の最高値は、T_BC' の -24.5°C である。

WNW T_BC をはじめ寒気流入型の度数が多い。気温の最低値は、T_FS の -31.0°C である。また、R_FW をはじめ暖気流入型の度数も比較的多い。気温の最高値は、T_BW' の -19.2°C である。

W 種々の型が出現するが、気温の最高値 -17.7°C を示す R_MW をはじめ暖気流入型が卓越する。また、T_MC 等の寒気流入型や T_FS 等の寒暖気の流入のない型の度数も比較的多い。気温の最低値は、T_BC' の -29.9°C である。

WSW T_FC が卓越し、また、気温の最低値 -26.8°C

を示す。また、R_BW 等の暖気流入型の度数も比較的多い。気温の最高値は、R_B·T_FW の -15.6°C である。

終りに、各地点を通して、風向別気温の機構の型の特徴の留意点を述べてみる。

まず、各地点とも、出現度数の少ない風向を除き、同一の風向に種々の型があり、機構は複雑であることがわかる。

また、WNW において、R_FW 等の暖気流入型、WSW において、T_FC 等の寒気流入型の度数が、かなり多いことも注目すべきである。

さらに、札幌においては、風向別平均気温が不規則型を示すが、型の特徴にも、2) に示すように、著しい差異が認められる。

5. 結語

500mb 面においては、風向別気温の地域差がかなり著しく、以上の調査により、この点が解明された。

また、風向別気温の気象学的機構の型の分類も、前報よりの課題であり、これにより、機構の型の調査は、一応、完結したと思われる。

さらに、対流圏上層や、世界の他の地域についても、同様の研究が必要であるので、調査を進めていきたい。

引用文献

- 1) Hess, P. U. H. Brezowsky, 1952: Katalog der Grosswetterlage Europas. Ber. Dt. Wd. Us. 33, Bd. 5.
- 2) 齋藤昭, 1970: 本邦における対流圏の風向別気温の研究 (1), 天気, 17, 365~370.
- 3) 齋藤昭, 1971: 本邦における対流圏の風向別気温の研究 (2), 天気, 18, 500~504.

第16期 第18回常任理事会議事録

日時 昭和47年3月24日(金) 15h~19h

出席者 大田, 関口, 大井, 小平, 藤原, 神山, 駒林, 関原, 北川, 岸保, 各常任理事

列席者 窪田長期計画委員長, 丸山長期計画委員, 鈴木庶務委員

報告抜萃

[庶務]

1. 2月29日(財)東レ科学振興会々長から, 昭和46年度東レ科学技術賞ならびに同科学技術研究助成金受領者の決定通知がきた。本学会推薦は入選しなかった。

2. 3月9日, 日本学術会議会長から, 3月27日, 日本学術会議講堂で, 学術会議と学協会の懇談会を開催すると通知がきた。大井理事が出席する。

3. 2月21日, 各理事に, 学会賞, 藤原賞受賞候補者について書面審査を依頼した。その結果全員可であったので2月28日付けで各受賞者に通知した。

4. 2月22日, 各理事に, 総会提出議題(会費値上げに伴う定款の一部改正外1件)について書面審査を依頼した。

結果 可22名, 未回答2名, また沢田理事から奨励金受領者選定規定の一部改正についての提案理由につき意見が寄せられた。

5. 2月28日, 朝日学術奨励金候補として新田勲会員(東京学芸大)外2名の「熱帯大気中における大規模じょう乱の研究」を推薦した。

6. 3月1日, 各支部長に, 現在の会員名簿原稿を添え, 4月1日現在に訂正方の依頼をした。

7. 3月8日, 各理事に, 沖縄復帰に伴う措置についての総会提出追加議題と, 関西支部規約の一部改正について書面審査を依頼した。

結果 沖縄復帰に伴う措置について 可21, 未回答3.

関西支部規約の一部改正 可20, 保留1, 未回答3.

8. 3月24日, 日本気象学会関西支部規約の一部改正を承認した。

[会計]

1. 2月分会計報告

2. 大気放射国際会議の寄付金募金状況

内諾額88万円 入金額191万円 計279万円

[気象集誌]

気象集誌の寄贈, 交換については, 原則として交換を中止する方向で再度検討する。

[ノート]

No. 111, No. 112, No. 113の予定報告。

地方公共団体等(公害関係)に日本気象学会入会のおさそい状を出したい。

(議題とする)

議 題

1. 総会準備について

1) 提出議題 次の3件とする。

・会費値上げに伴う定款の一部改正

・沖縄支部設置と沖縄地区選出の理事の定数を1名とする細則の一部改正

・学会奨励金受領者選定規定改正

2) 理事長あいさつ

3) 事業経過報告

4) 事業計画

5) 予算案

配付の資料について議論された。次回の常任理事会で更に検討する。

2. 日本気象学会長期計画について

秋までに答申案を提出することとし, 総会では経過報告をする。